

R7. 浜小学校

KEEP GOING

～見方考え方を動かせた
深い学びの実現～

4年生 国語科の実践 「新聞を作ろう」

1. 単元の目標

- 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方を理解し、使うことができる。
【知識及び技能(2)イ】
- 「書くこと」において相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。
【思考力、判断力、表現力B（1）ア】
- 「書くこと」において間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。
【思考力、判断力、表現力B（1）エ】
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考え方を伝え合おうとする。
【学びに向かう力、人間性等】

2. 実践の内容①「学習計画／スプレッドシート」

(1)ICT活用場面

共同編集で担当記事ごとに学習計画立て、チームで共有

C	インタビュー	アンケート	しょうかい
たんどう者 (記事を書く人)	南先生	1年生	
だれに	給食のこんだてひょうを どのように決めているか。	1年間を通してどんな教科が 好きになったか。	
目的 (何を知らせたいか)	・給食のこんだてひょうをどのように決めているか ・どれくらいかけて決めているか ・決めるのは難しいか ・考へている写真 ・敬体で書く・録画しておく	・クロムでアンケートを取る (1つ選べるように作る) ・棒グラフで表す。	・敬体 ・浜小学校四年三組学級サイトから 写真を選ぶ
1 2月20日(木)	学習計画を作る	学習計画を作る	学習計画を作る
2 2月21日(金)	インタビューの準備をする	アンケートづくりをする	文章を書き始める
3 2月25日(火)	インタビューを聞きに行く	アンケートの結果をぶんせきする グラフにする	文章をしあげる 写真を選ぶ
4 2月26日(水)	文章を書き始める 文章をすいこうする	アンケート結果(記事)を新聞に書く	文章をすいこうする
5 ○○新聞【C...】	たんとうをかえて、おたがいにチェック わりつけを決める	たんとうをかえて、おたがいにチェック わりつけを決める	たんとうをかえて、おたがいにチェック わりつけをきめる

(2)ICT活用のねらい・よさ

学習計画、進捗状況が共有できる。
児童 ⇄ 児童
児童 ⇄ 教師

シートを1枚にし、他のグループの計画や記事を他者参照可能に

2. 実践の内容②「情報収集／フォーム、カメラ、クラスルーム」

(1)ICT活用場面

- ・既存の全校児童用のクラスルームで作成したアンケートを発信する
- ・インタビューを後で見返せるよう、動画で撮影する



はまっ子のみんなへ

(2)ICT活用のねらい・よさ

アンケート作成、配布、回収、集計、グラフ化までをスピーディーに行うことができる。

→国語として指導に時間をかけたいところに時間を充てられる。

- ・「大事なことを落とさずに聞けたか」自分たちで確認が可能に

【4年3組からのアンケート】

4年生では、今、国語の学習で新聞づくりをしています。
はまっこのみなさんの好きな〇〇を調べて、記事にしたいので、アンケートに答えてほしいです。
ごきょうりょく、よろしくおねがいします。

①学校の好きな場所アンケート

<https://forms.gle/hCCSjVUvd3uXDXmr7>

②はまっ子の好きな遊びアンケート

<https://forms.gle/XefhBoUd4cAqwZ77A?authuser=0>

2. 実践の内容③「記述・推敲／スライド」

(1)ICT活用場面

- ・記事をスライドで作成する
- ・共同で記事を編集する
- ・コメントで推敲のアドバイスをもらう

(2)ICT活用のねらい・よさ

- ・書きながら考え、直すことができるのと、個人思考、協働、思考の再構築をスムーズに行うことができる。
- ・共同編集が可能で、コメント機能でアドバイスをし合うことができる。

※児童の新聞記事のインタビュー記事の一例

しづか先生にインタビュー

「英語は小さい頃から」



庄田静香先生は、私達の英語の先生で英語を教えてくれる先生です。私達は、そのしづか先生なぜ英語を上手に喋れるようになったのかを知る目的でインタビューしました。

まず、いつから英語に興味を持ったのかを聞きました。しづか先生は、中学1年生のときに英語を始めたそうで、高1でアメリカにホームステイに行き、外国人の人と関わったそうです。そこから、英語に興味を持ち出したそうです。その後大学でオーストラリアで1ヶ月間勉強をしてたそうです。

なぜ浜小学校に来たかと聞きました。しづか先生は、高校の先生でしたが、「小さい頃から英語を好きになってほしい」という理由で小学校の先生になったそうです。最後に私達へ英語を上手になるためのアドバイスを言ってくれました。しづか先生は、「上手じゃなくても喋ってみたり、上手な人の事を真似して見ればいい」と言っていました。

3. 児童の様子（成果物の一例 ※記事の一部）

いろんなぼうしのファッショショーンショー

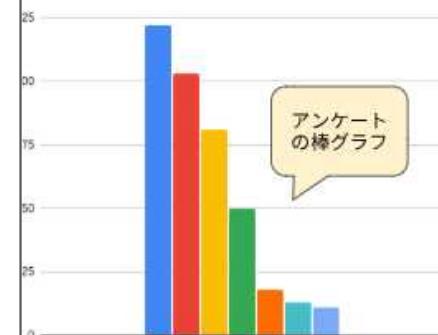


図工「つないで組んでできなぼうし」でみんなが紙バンドでオリジナルのぼうしをつくりました。6月11日に「ぼうしファッショショーンショー」を行い、1人ずつ、ランウェイを歩き、きめポーズをしました。みんなが楽しく自分のぼうしをかぶってひろうしました。友達の出番のときは、みんなが温かい目で見守りながら拍手を送りました。1人1人の個性がぼうしに詰まっていてとてもすてきだなど、感じたファッショショーンショーでした。

○思い出紹介の記事の一例

「4年生の楽しかった学習」をテーマに紹介。前半に事実、後半に感想を書いています。写真はクラスルームの写真フォルダから記事にあったものを選んでいる。

学校の人気な場所は、ここだ！



このグラフは、浜小学校の人気の場所を表したものです。全校の398人にアンケートを取ったところ自分の教室が122人、体育館が103人、図書室が81人、運動場が50人、理科室が18人、音楽室13人、図工室が11人という結果になりました。

その中でも運動ができる運動場や体育館などが、ほかより多かったです。一番多かったのは、自分の教室です。理由が「みんながいるから」「みんなと遊べるから」などの理由がありました。浜っ子のみんなは体を動かすことが好きなこと、自分の教室やなかまに親しみを感じていることがわかりました。

○アンケート調査の記事の一例

「学校のお気に入りの場所」をテーマに全校児童にアンケートを実施。全校クラスルームにアンケートを掲載し、放送で回答を呼びかけた。放送原稿もドキュメントで作成。

4. 成果

- ・Googleの汎用的なアプリケーションと既習のICTスキルを活用して、単元を通して児童が主体的に学びを進めることができた。
- ・ICT活用により新聞づくり（＝児童の学び）が効率化された。アンケートの配布や集計の効率化、記述や推敲の場面の効率化により、「書くこと」の指導に時間をかけることができた。

5. 課題

- ・記事をスライドで作成し、印刷した記事模造紙に貼り付けて完成させたため、「わりつけを決める」指導（記事の大きさと新聞にいれる場所）が十分ではなかったと感じる。